

長年の活動 社会に

緑綬

社会奉仕活動功績

地域緑化で子を笑顔に

新垣安伴さん(71) 環境美化奉仕者



「子どもたちの笑顔が常にあふれる地域をつくりたい」。そう強く思い、地域の緑化活動や環境美化などに取り組んで40年余り。民生委員・児童委員などの活動にも長年携わり、児童福祉の向上に貢献してきた。

心身ともに子どもたちが健やかに育つ環境をつくるのは「大人や地域の役割」と強調。知恵や力を貸してくれた人々に感謝しつつ「まだまだ道半ば。もっと地域の役に立ちたい」と話す。

保険業を営みながら28歳で自治会役員に就き、子どもたちが「古里」を思える環境づくりの必要性を感じた。地域や学校を巻き込む

「花いっぱい運動」などを展開。保護者らに思いが広がり、より良い活動にしようと「朝刊が届く頃まで」話し合うこともあった。

道路や緑地、ポケットパークで清掃や除草、花植えなどを長年継続。色鮮やかな花々が咲く浦添市宮城の「アイ美花園」など憩いの場を生み、大平特別支援学校前のバス停前なども彩った。

人や社会のために尽くす大切さを繰り返し語った曾祖母カナさん（故人）の言葉が活動の原点。受章は「激励」と受け止め、「感謝を忘れず、ますます頑張りたい」とほほ笑む。

（浦添市安波茶3の33の6）